

9月25日開催のご報告 令和4年度地域の魅力発見事業

歴史講演会 わがまち新井宿

～温故知新～ 故きを温ねて新井宿を知る



主催者である鈴木連合会長 大田区文化振興協会 津村理事長 村岡花子のパネルを見る参加者 鼎談(ていだん)の様子

この日に至るまで、2年の歳月が過ぎました。新型コロナウイルスのまん延は地域の文化活動にも大きな痕跡を残したのです。度重なる延期、一度はできないのではという不安が心をよぎりましたが、それでもスタッフ全員の力でようやく開催にこぎつけることができました。初めに、主催者を代表して鈴木英明新井宿自治会連合会長、来賓として津村正純大田区文化振興協会理事長がご挨拶されました。

第一部



講師の高木利忠氏



たくさんの写真や絵を使って講演


大森地区の歴史に詳しい高木利忠入新井一丁目東町会長の講演から始まりました。縄文時代より歴史をひも解き、大森貝塚の発見まで解説され、大田・品川まちめぐりガイドの会の佐藤渉さんのサポートで画像がスピーディーに展開されていきました。

大森駅は明治9年(1876年)新橋・横浜の次の駅として生まれました。鉄道の敷設とエドワード・シルベスター・モースの大森貝塚発見は切り離せません。明治から大正にかけて大森駅西側は住宅地として発展し、東側は京浜急行の敷設等により歓楽街が出来上がりました。また西側の新井宿も長閑な農業地帯から馬込文士村と呼ばれる文化人が集まるところとなったのです。

かつての入新井という地名は、明治22年(1889年)に「新井宿村」と「不入斗村」が合併してできたものです。その名残りが学校の名前等に残っています。

第二部



第二部では、東京大森ロータリークラブ創立50周年記念事業で作成された「文化の街 大森を歩く」から第1シリーズ「多くの人々に愛された女流作家たち」が放映されました。映像では第三部で登場される村岡恵理さんがインタビューをうけるかたちで祖母に当たる村岡花子の書齋を紹介しながら、その人となりをお話しされてます。今は母校の東洋英和女学院に書齋は移りましたが、まぎれもなくこの書齋が、「赤毛のアン」を執筆した場所です。こちらのDVDは、第2シリーズ「詩人、小説家のサロン馬込文士村・偉大な文化人たち」、第3シリーズ「美術家の巨匠たち」と続きがあります。ご覧になりたい方はこちらへどうぞ。(東京大森ロータリークラブYouTubeチャンネルへ移行) 

大森地区の歴史に詳しい高木利忠入新井一丁目東町会長の講演から始まりました。縄文時代より歴史をひも解き、大森貝塚の発見まで解説され、大田・品川まちめぐりガイドの会の佐藤渉さんのサポートで画像がスピーディーに展開されていきました。

第三部



中央一丁目町会 岩井会長



村岡美枝さん



村岡恵理さん



邦訳70周年記念に改訂された「赤毛のアン」を、村岡美枝さん、恵理さんが大田文化の森に寄贈してくださいました。

岩井克文中央一丁目町会長が新井宿の歴史を駆け足で紹介しました。第一生命保険創設者の矢野恒太や清浦奎吾等が、この町の礎を作ったことなど、大森倶楽部で語り継がれてきた話です。やがて大正から昭和初期にかけて、小説家やその他の芸術家が移り住んだ町として変遷していくのです。

続いて、村岡花子さんのお孫さん、村岡美枝さんと村岡恵理さん、「わがまち新井宿」編集委員長の関口直人による鼎談です。折しも今年には『赤毛のアン』の邦訳本が出版されて70周年、村岡花子さんの思い出話からスタートでした。東洋英和の後輩、女優であり作家の長岡輝子さんに花子さんが手を差し伸べた話は「アンのかげ」にも書かれてない本邦初公開のものでした。娘のみどりさんが出版した花子さんの遺稿集「生きるということ」の一篇、「古本屋」に書かれた山王書房主人とのエピソードを関口編集長が朗読しました。関口良雄の長台詞は古本屋としての矜持を感じさせる言葉で、花子さん共感したそうです。臼田坂下で生まれ育った池部良少年が成人して出演した映画は、石坂洋次郎の「青い山脈」、川端康成の「雪国」で、この二人の作家も臼田坂にお住まいだったと云う話。

作詞家の岩谷時子が大森に住んでらした話は、「ラストダンスは私に 岩谷時子物語」を書かれた恵理さんが詳しく、駅前の民芸レストラン「乃中」に通っていたとの話まで紹介されました。尽きない話は、いつかまた続きをとの声が届いています。最後に、新曲『わがまち新井宿の歌』を関口編集長がギターで披露すると、会場のお客さんもコーラスに参加して楽しく盛り上がりしました。

『わがまち新井宿の歌』
作詞作曲/新井十九



歌詞の()の部分は、こだまのように同じメロディで追いかけてコーラスしてください。

- 大きな森だ 大森だ 文化の森だ
花子とアンが 暮らした町だよ
ごきげんよう (ごきげんよう)
ああ ああ 新井宿 わがまち新井宿
- 艱難辛苦に立ち向かい 命を懸けた
六人衆の 勇気を決して
忘れない (忘れない)
ああ ああ 新井宿 わがまち新井宿
- 大森蒲田で大田区だ 山王中央も
呼び名は変われど 故きを温ねりや
新井宿 (新井宿)
ああ ああ 新井宿 わがまち新井宿
- 月は東に日は西に 星座は夜空に
我らはこの地に 平和に暮らそう
いつまでも (いつまでも)
ああ ああ 新井宿 わがまち新井宿



「わがまち新井宿の歌」を歌う 関口編集委員長

YouTubeにアップされましたので、「わがまち新井宿の歌」では是非検索してください。